

## 第2回 横山っ子ネットワーク協議会 議事録

◇ 授業参観 9:30~9:55

1年生 算数 たしざん

2年生 国語 さげが大きくなるまで

3年生 体育 鉄棒運動

4年生 算数 垂直、平行と四角形

5年生 社会 自動車をつくる工業

6年生 ドリル学習

スマイル学級1組から3組も参観しました。

日時：令和5年10月31日（火）

9:30~

場所：横山小学校 集会室

◇ 協議会 10:00~12:00

◇ 給食試食 12:00~12:15



◇ 学校運営状況の説明（大塚 優 校長）

- 交通安全表彰（県知事賞）を横山小学校が受賞した。交通安全に向けた取り組みへの評価であり、少なくとも10年間、登下校や家庭に帰ってからも交通事故がなかった。見守り隊の方々や地域の方々に感謝。
- 4月からの学校状況を写真で紹介。入学してきた1年生の状況は、成長も見られる一方でなかなか落ち着きに欠ける様子が見られる。
- 上級生である6年生が、1年生の面倒をよくみている。大変ありがたい。
- 三川町内の小学児童による記録会。スポーツテスト（体力状況）は、全学年とも50m走（短距離走）で平均を下回り課題である。また、握力も弱い。柔軟性はあるようだ。
- 児童総会の様子では、委員長がタブレットを使ってプロジェクターに写してプレゼンしている。ICT活用が進んでいる。
- 夏季のプール開放は、水温が32度あり（33度で中性温度となり危険水温）熱中症の危険もある。
- 夏季の高温で、学校行事等も延期せざるをえなかった。
- 「なかよしデー」を6年生の企画で実施した。
- 持久走記録会。積極的に取り組む姿勢が素晴らしい。
- 学校祭の全校合唱。声の大きさなど、心配していたが、本番当日は、きっちり合わせてくるあたり力のある子どもたちと感じた。
- 前回の協議会で、みんなで考える学校。特に「気づく力」をつけるために頑張っていると話をした。集会時に、「九九」の表をつかって子どもたちに問いかけた。徐々に発言する子が多くなり、子どもたちは気づいたことを夢中になって発言するようになった。気づくと興味がわく。さらに声に出して話し出すと「定着」につながる。「九九」に隠れた秘密を知ると算数や数学が好きになる。
- 「横ちゃんねる」というユーチューブを開設した。学びの発表の場であり、地域学習で得た知識を表現することで身につけられるように取り組んでいる。何を情報としてアップロードしていいのかわからないのか、それとも悪いのかを判断する機会にしている。3年生が積極的に行っている。（田田を訪れ、学んだことを紹介した動画）先生は、使い方のみを教えて子どもたちが総合（総合的な学習の時間）の授業で制作した。
- 現在の課題について、まず、人手（職員）が足りない。職員規模と行事等の教育活動のバランスを考えた時に、やらなければならないことが多すぎる。その要因として、標準授業時数を上回って教育課程を編成していること、行事時数が多いことがあげられる。「働き方改革」の目的は、「子どもと向き合うための心の余裕と時間の確保」であった。先生方が笑顔で子どもたちを迎えることができたり、子どもの様子の変化に気づく余裕だったりがあるのか、現状では心配されるところである。

- ・年間授業時数について本校は1089時間。文科省から「時数が1086時間以上ある学校は教育課程の編成・実施に当たって十分配慮すること」と通知がきている。
- ・そこで、行事の授業への移行や見直し、精選を進めなくてはと考えている。人の気持ちに余裕がなくては「横山愛」は生まれない。
- ・行事時数を半分程度にしていきたい。大人がすべて準備する行事から、自分たちの手で創り上げる授業にして授業時数への移行。田植え、稲刈り、修学旅行、自然教室、相撲大会など児童の主体性を生かし、育てていきたい。
- ・廃止、縮小、見直しが必要と考えている事業として、PTA 早朝作業や地区懇談会。スキー教室など移動に時間をとるものを見直しする。
- ・限りなく8月いっぱい夏休みにしていきたい。同時に、夏休みに近い行事が見直しとなる。今後の気象状況を考えると必要な見直しとなる。

#### ◇ 学校運営状況への質問や意見

- ・学習指導要領が算数を中心に大幅に増えている。なにがそんなに増えたのか。
- 「考える」「表現する」なども含め「データ」という新領域が25%ずつ増えている。計算を正確に行うことよりも、出てきたデータをどうとらえ、活用するかが求められている。詰め込むより気づきを大切にしたい探究型の学習が多くなった。以前は、教科書の内容を教えることが中心であったが、今は、子どもに課題を提示し、関心をもたせ夢中にさせる努力が教師に求められている。教え込みの授業ではこれからの子どもはついてこない。
- 「学習内容の整理」とは、自然学習の8時間のなかで、野外炊飯は家庭科で米を炊くという内容があるから、自然学習の内容からはぶく。今は、野外炊飯も内容にいれ、また、そのための材料調達をも時間にとられているから労力が増している。
- ・前校長も文集の廃止や学力テストの廃止など今の時代に合った削減を実施してきた。大塚校長の提案は、行事のなかで授業内容にも含まれるのではないかとと思われることを授業時数にいれて行事数を減らすということなので進めていただきたい。それが、職員の負担を減らすことにつながるのであればよい。
- 文科省で例示はあるが、「それぞれの学校で工夫して下さい」という申し送り。町の教育委員会は融通がきき助かっている。
- ・子どもに接する時間の確保は必要で大切。世代格差のある職場であるからこそ、子どもを観察し、情報交換できる職場集団の雰囲気の方が大切。教員の忙しさは理解できるので、教員をサポートできる行政の組織体制（指導主事の数を増やす）などができたらよいのだが。
- 町教育委員会からは、支援員など手厚く派遣していただいている。
- ・横山小学校の子どもが育っていることは、教職員の努力であることは本当にありがたい。
- ・行事のなかのどの部分が授業で取り上げられているのかがわかるような説明があるとよい。また、行事の目的もはっきりさせてほしい。
- PTA 組織への打診をしながら、段取りを踏まえて提示していきたい。
- ・遊びに来た児童がスマートフォンをもっていた。学校にも持ってきているのか。
- 学校に持っていけないというルールになっている。（学校で調査などはしていない）小学生でも所有している子どもは増えていると感じる。
- ・メールやLINEでの実態はどうか。
- メールやLINEをしている児童はいるだろう。禁止とすると逆に表に出てこなくなる。利用に関わる注意事項を大切に理解して頂く事を望みたい。
- ・校長先生の説明であった状況を理解し改革の方向も理解できる。保護者や地域には、丁寧な説明を行って

頂きたい。スキー教室などは横山小学校だけが行事でやっている。町の社会教育でもスキー教室をやっているのを削減するなどの手立てをとって行ってほしい。

◇ LOVE ～自分・友だち・地域～について

- ・学校運営協議会の存在をより広報化する必要がある。特に保護者の方々に協議会の存在を知ってほしい。PTA 広報などで取り上げるなど。来年は、150周年を控えているので、学校に地域が結びつく絶好のチャンスととらえたい。
- ・学校運営協議会の様子など QR コードなどを活用するなどしたらよいと思う。
- ・学校運営協議会の存在を知らなくとも、「学校との関係は良好である」の数字が高いのはありがたい。
- ・地域の人柄的に、子どもたちが楽しく学校生活を送ってくれたらそれでよいという意識がある。
- ・横山っ子ネットワーク協議会に参加して思うことが、常に、委員の方々が「学校が困っているなら何とかしてやろうという前向きさ」を感じる。教職員もそれを励みに頑張ろうと思えているのではないか。
- ・環境整備作業でも地域の方々が参加してくれている。休憩中や終了時には、昇降口の階段に座りながら雑談をし、よい時間を過ごしている。毎回、楽しみにして学校に来てくださっている。地域の方々との結びつきが多いので、地域との関わりを大切にしながら、今の時代にあった行事の改革を進めていきたい。そのために、見直しの母体の一つに、学校運営協議会があるのだと保護者にも理解していただけるよう広報化を進めたい。
- ・学校と地域が結びつく事業の年間スケジュールが見えるような形にしていきたい。
- ・「なかよしになるためのアンケート」結果が資料に載っているが、「いじめ」対応アンケートではなく、友だち関係を構築する内容や地域を思うような内容がわかるよう配慮できないか。
- ・不登校を未然に防ぐためにも、教員の対応を含め、人との関わりを大切にしたい学校生活を望みたい。それとともに、学校でも家庭でも子どもの変化に気づき共有できる環境が大切である。
- ・連絡帳に、友だちが認めてくれた頑張ったことの付箋がついてくる。担任の先生も褒めた言葉を残してくれる。自己肯定感をつけてくれるよい指導だと感じている。

